

関学 ヒューマンライブラリー 2024



7/5

FRI

16:10 OPEN

受付開始
先着順となります

16:30 オープニング

16:40-17:10 セッション①

17:25-18:05 セッション②

18:05 クロージング

18:30 CLOSE

参加無料

事前申し込み不要

1セッションだけの参加も可能

ヒューマンライブラリーとは
多様な文化や背景を持つ人が
「本（語り手）」となり、来場し
た「読者（聞き手）」と、少人数
で30分の対話をするイベントで
す。誰もが、知らず知らずのう
ちに持っている「心のバリア」
を溶かしてみませんか。
世界各国で行われているこのイ
ベント、今年も関学で開催！！
みなさん、どうぞお気軽にご参
加ください。

場所

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

G号館2階 フジタ・グローバルラウンジ

※ご不明な点やご相談がある場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

主催：関西学院大学人権教育研究室・日本語教育センター

問合せ先： 関西学院大学人権教育研究室

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 e-mail: human-rights@kwansei.ac.jp



作者

タイトル



Book List

当日は他の「本」も登壇します。お楽しみに！

1

ビッグイシュー販売者

人はどのようにホームレスになるか

今、私はビッグイシュー（BIG ISSUE）という雑誌を販売しています。この雑誌はホームレス状態の人や生活に困っている人々の自立のための雑誌です。

人はどのようにホームレス状態になるのでしょうか？それは一人ひとり異なります。それぞれの人生の中でいろんな出来事を経て、家族、仕事、お金がなくなり、ホームレス状態になります。私のお話が皆様のお役に少しでも立てましたら幸いです。



2

めぐ

私の呼び名（50を過ぎて思うこと）

私、生まれてこの方いろいろな呼ばれ方してきたな～と50を過ぎてふと振り返りました。（おかま）と罵られた10代、（ニューハーフ）という職業を選んだ20代、新たな人生にずっと使った（めぐ）という名前、ずっとある意味タブーだった呼び名が（トランスジェンダー）で社会的公式みたいになった今日この頃…

まあ、それぞれどれもいいも悪いも思い出深いんだけど、今一番しっくりくる私の呼び名は（私）です。

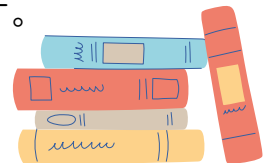
私が（私）に辿り着くまでの話、聞いてくださると嬉しいです。

3

帰国子女として過ごす大学生

異質な他者として生きること

私は小学校4年生から中学校1年生の計3年半をアメリカで過ごした経験があります。アメリカでは「日本人」として、その後、帰国後に転入した地元の公立中学校では「帰国子女」という「異質な他者」としてのレッテルを貼られた経験があります。大学に入学したことで、ラベリング理論という自分がどうラベルを貼られるかで自分自身の行動が変化する、という概念を学びました。この理論から、個人の原因だけでない社会の影響について知りました。自分らしく生きていくとはどういうことかをみなさんと一緒に考えたいと思っています。



4

白血病サバイバーゆかぽん

人生はアドベンチャー

私の人生はアドベンチャー！大学卒業後は国内外で危険な登山三昧。

そして生まれた息子ふたりは超重度障害児。長男は1歳で天国へ。次男は医療ケアをしながら在宅介護の22歳。8年前には私が白血病を発症、5年生存率20%の宣告を受けるも復活。2年後に再発するも再び復活。今が一番しあわせです。

人生は色々あって当たり前。人生が終わる時、「あーいい人生だった」と思いたい。

まだまだ冒険は続きます。

みなさんのこれからの人生を考えるきっかけになればうれしいです。



5

マサムネ葵

ピクニックシートを広げだした人

「ノンバイナリー」を知っていますか？

（と言わなくて良い世の中にはよくなって欲しい）

自身を「男でも女でもない」と思う性自認の持ち主、その”1人”としてお話しします。

10代の頃から、「多くの人間とどうやら自分は違う」「自分はある種のエラーだ」

「いつか”普通”になるんだろう」と感じていました。

1人の人間や俳優やワークショップデザイナーとして感じてきた変遷。

どう自分を認め、どう社会と繋がろうとしているかをみなさんとシェアできたら嬉しいです。